

6月10日(日) 富山新聞



子育てテーマに懇談
「意見を政策に反映」
富山で大沼厚労政務官
大沼瑞穂厚生労働政務官
は9日、富山市まちなか総
合ケアセンターを訪れ、市
内在住の20〜40代の男女9
人と子育てをテーマに懇談

した。写真。参加者から事
業所内保育所の整備推進や
保育士の処遇改善を求める
意見が上がり、大沼氏は「皆
さんの意見を政策に反映さ
せていきたい」と応じた。
懇談は安倍内閣の閣僚ら
が地域の生の声を聞いて政
策に生かす「車座ふるさと
トーク」の一環。大沼氏は
森雅志市長らの案内で同セ
ンターの産後ケア応援室な
どを見て回り「さまざま
機能を持ち合わせた施設で
勉強になった。全国に波及
させるために必要なサポ
ートについて考えたい」と述
べた。
砺波市太田の高齢者向け
医療機関「ものがたり診療
所太田」も視察した。

6月10日(日) 北日本新聞



子育て環境充実へ
保育士の処遇改善
富山で厚労政務官
厚生労働省の「車座ふるさ
とトーク」が9日、富山市ま
ちなか総合ケアセンター（総
曲輪）であり、大沼みずほ政
務官（写真右）が子育て中の
20〜40代の男女と意見交換し
た。子育て環境の充実に向け、
保育士の処遇改善や働き方改
革の推進に力を注ぐ考えを示
した。

子育て中の不安などがテ
マで、男女9人が保育士の確
保や学童保育、経済支援の充
実を求めた。政務官は「現場
の声を予算に反映させられる
よう頑張りたい」と述べた。
政務官はトークに先立って
同センターを視察。病児保育
の利用者が1年間で延べ80
0人を超えることなど、市の
取り組みの状況を聞いた。森
雅志市長とも懇談した。
砺波市の「ものがたり診療
所太田」も視察した。